

学校だより みんなの森合小

～ 自分でチャレンジ みんなとチャレンジ 最後まで～

NO. 15

令和3年11月29日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

かかわるすべての大人が子供たちの成長を楽しむ

～ あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら ～

土・日に雨が降り続き、月曜日に行った運動会。2日間にわたり学校を解放したフリー参観。保護者の皆様には、お忙しい中、ご来校・ご参加いただき、ありがとうございます。子供たちの様子はいかがだったでしょうか。背が伸びたなど目に見えるところだけでなく、学習に取り組む姿や友達と関わる様子などから、「心の成長」を感じ取っていただければ幸いです。子供たちにとって、学校生活は、すべてが学びになります。特に、全校生650人前後で、学年3～4クラスある森合小は、「あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら学ぶこと」（裏面「令和の日本型学校教育」）に関しては、絶好の環境といえるのではないのでしょうか。予測困難な時代に、自分の頭をフル回転させて考え、友達と協働的に学ぶ力が必要になっています。今までは、みんなと同じことが評価されましたが、これからは、人と違うことに価値がある時代になっています。子供たちにかかわるすべての大人が、このことを肝に銘じ、子供の「失敗」や「やり直し」を見守り、その過程で、成長を楽しむことが大切です。教師も保護者も、子供に、ゆとりをもって笑顔でかかわることができる森合小学校を創っていきます。



【3年生 総合的な学習の時間】



【2部制の運動会】



【民生児童委員訪問】



【フリー参観】



【クラブ見学会】

お待ちしております 個別懇談会

12月2日・3日・6日・7日・8日の5日間にわたり、個別懇談会が行われます。子供の生活や学習の様子について、情報を共有するのですが、特に「学びの過程」を大切にする機会にしたいと考えています。お待ちしております。

学校評価で、学校創り！

4月に提示した「学校運営ビジョン」について、保護者の皆さんに、学校評価をお願いします。学校創りに、ご参加ください。(来月実施予定)

感染予防！～換気～

海外では第6波となる感染拡大、北海道ではクラスターが発生し、まだまだ油断は禁物です。特に、換気に気を付けていきます。

鼓笛パレード参加への方向性について ～森合小から始めよう～

福島市教育委員会主催「鼓笛パレード」は、次年度も実施の予定です。本校も、参加するために、5年生が準備を始める時期となりました。「鼓笛パレード」は、第44回の歴史があります。50代後半の私が小学校の時も、ベルリラで参加しました。曲は、森昌子の「お母さん」でした。これだけの歴史があるのは、大人達を感動させる行事であり、市民や保護者の期待が高いからとのことです。その中で時代は、変わってきています。裏面資料「令和の日本型学校教育」にもあるように、今、子供たちに求められている力は、約50年前の私が小学生の頃より進化し、日々の授業や生活などの学びは、「指示や号令」ではなく「自分で考えること」「学んだことを活用すること」などが重要視されてきています。そこで「鼓笛パレード」についても、「音楽科や体育科で学んだ知識や技能を活用して、自分で考え取り組める」ように進めていきます。そのため、次年度より金管楽器編制を取りやめ、鍵盤ハーモニカ主体の編制とし、子供が育つ学びにつなげていきます。ご理解とご協力をよろしく願います。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す，個別最適な学びの実現～(答申)【概要】

第I部 総論

令和3年1月26日
中央教育審議会

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果，直面する課題と新たな動きについて

成果

- 学校が学習指導のみならず，生徒指導の面でも主要な役割を担い，児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで，子どもたちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は，諸外国から高い評価

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため，全国的に学校の臨時休業措置が取られたことにより再認識された学校の役割

①学習機会と学力の保障 ②全人的な発達・成長の保障 ③身体的，精神的な健康の保障 (安全・安心につながる可以保证(居場所・セーフティネット))

課題

- 子どもたちの意欲・関心・学習習慣等や，高い意欲や能力をもった教師やそれを支える職員の力により成果を挙げる一方，変化する社会の中で以下の課題に直面
- 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり，結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され，その負担が増大
- 子どもたちの多様化(特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加，貧困，いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等)
- 生徒の学習意欲の低下
- 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下，教師不足の深刻化
- 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど，加齢的に進展する情報化への対応の遅れ
- 少子高齢化，人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立，今後起こり得る新たな感染症への備えとしての教室環境や指導体制等の整備

教育振興基本計画の理念
(自立・協働・創造)の継承

学校における
働き方改革の推進

GIGAスクール構想の
実現

新学習指導要領の
着実な実施

必要な改革を躊躇なく進めることで，従来の日本型学校教育を発展させ，「令和の日本型学校教育」を実現